

文部科学記者会・科学記者会
横浜市政記者クラブ 同時発表2026 年 7 月 31 日
横 浜 市 立 大 学

JST さくらサイエンスプログラムで ケニアの看護学生を初めて受け入れ

—横浜の持続可能な高齢社会を支えるヘルシーエイジング・ケア交流研修を実施—

横浜市立大学医学部看護学科老年看護学の提案した「横浜の持続可能な高齢社会を支えるヘルシーエイジング・ケア ～見て・感じて・考える交流研修プログラム～」が、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の「さくらサイエンスプログラム」*¹2026 年度第 1 回公募 A コースに採択されました。今回の公募（A・B・C コース）には、全国から 191 件の申請があり、そのうち 72 件が採択されています。

本プログラムでは、2027 年 1 月 10 日（日）から 1 月 16 日（土）まで、アフリカ・ケニアのマシンデ・ムリロ科学技術大学（Masinde Muliro University of Science and Technology）*²から看護学分野の学生等を横浜市立大学に招きます。本学科では、2016 年から継続して毎年 JST さくらサイエンスプログラムを行っていますが、ケニアの大学から学生を受け入れるのは今回が初めてです。

本プログラムでは、日本の超高齢社会における高齢者看護、認知症ケア、介護保険施設でのケア、高度急性期医療、リハビリテーション看護などを、講義・演習・施設見学・学生交流を通じて学びます。ケニアの学生が日本の先進的な看護実践や高齢者ケアへの理解を深めるとともに、本学の学生にとっても異なる保健医療環境や文化への理解を深める機会となります。学生同士の交流を通じて相互に学び合い、国際的な視野を持つ保健医療人材の育成につながります。

プログラム概要

採択事業	JST 2026 年度さくらサイエンスプログラム 科学技術体験コース（A コース）
交流計画名	横浜の持続可能な高齢社会を支えるヘルシーエイジング・ケア～見て・感じて・考える交流研修プログラム～
実施期間	2027 年 1 月 10 日（日）～1 月 16 日（土）〔7 日間〕
オンライン交流	2026 年 12 月 16 日～2027 年 2 月 12 日
送り出し機関	マシンデ・ムリロ科学技術大学（ケニア・カカメガ州）School of Nursing and Midwifery
主な実施場所	横浜市立大学、横浜市立大学附属病院、介護保険施設等

主なプログラム内容

- ・ 老年看護学、日本の保健医療制度、介護保険制度、認知症ケアに関する講義
- ・ 高齢者模擬体験、介護保険施設・高度医療機関・リハビリテーション病院等でのフィールドワーク
- ・ 本学学生とケニアの学生による課題解決型グループワーク、合同発表、修了証授与式



研修イメージ

- *1 さくらサイエンスプログラム：国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が実施する国際青少年サイエンス交流事業。海外の優秀な若者を日本に招待し、日本の科学技術や教育研究環境に触れる機会を提供することで、国際的な人材交流と継続的な教育・研究連携の促進を目指している。
- *2 マシンデ・ムリロ科学技術大学：ケニア西部に位置するカカメガ州の公立大学。同大学の看護・助産学部は、看護学、助産学、公衆衛生、地域保健に関する教育・研究を行っており、地域社会の保健医療の発展に貢献する人材育成に取り組んでいる。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

横浜市立大学は、
様々な取り組みを
通じてSDGsの達
成を目指します。

